

【破滅の星】

南アフリカランド 30年史

～日本にある資料だけではわからない。新興国通貨の真実～

発行：ハン・レイ 代表 横澤清久 <http://han-rei.com/>

Copyright 2006 All Rights Reserved by Kiyohisa Yokosawa.

無断転載を禁じます。

初めに

こんにちは。メルマガ「相場生活入門」発行人の横澤清久と申します。

F X取引のスワップ取引がブームです。その中でも人気の高い通貨の一つが「南アフリカランド」ですね。南アフリカランドのような国を新興国とも呼び、その国の通貨は新興国通貨とも呼ばれます。南アフリカランドを扱っているというだけで、新規口座開設が大幅に増えたF X会社も多いと言われるくらいですので、その人気の凄さがよくわかります。

スワップ金利約9%

レバレッジ3倍で年利27%

レバレッジ5倍で年利45%

レバレッジ10倍で年利90%

相場が大きな円高にならなければ、この利益が確保出来るのですから、魅力的ですね。

(・_・;) でも、そんなにうまくいくものでしょうか？

本当の南アフリカランドの姿ってご存知ですか。

このレポートでは、過去30年の南アフリカランドのグラフを基に、南アフリカランドの真実の姿をお見せしたいと思っております。南アフリカランドの30年分の値動きを辿る事により、面白い事がわかります。

日本国内のF X会社などでは、南アフリカランドの30年分の値動きデータは入手出来ません。日本のF X会社で提供している南アフリカランドのデータは、長くても4年分程度しかないからです。

そこで・・・相場先進国 米国よりデータを取り寄せました。

(・_・;)・・・というのは大袈裟です。

毎年、米の私の取引先の商品先物会社より送られて来るカレンダーの中に貴重なグラフがあったのでそれを利用したのです。

では、始めましょう。

30年のグラフが示す南アフリカランドの真の姿

相場の傾向を見るなら最低10年分必要

株でも、商品先物でも、相場の大きな傾向を知るためには「最低10年間遡ってグラフを描け」と言われます。私自身、株式投資では過去10年遡って月足グラフを描き続けています。ブログでもこんな具合に公開し続けています。

参考データ：銘柄コード 6000番台の月足

<http://1000niti.blog70.fc2.com/blog-category-8.html>

このグラフを描き続ける理由は簡単です。10年分くらい遡らないと傾向がわからないからです。実際、こういうグラフ描きをしていると、その株の値動きの特徴がよくわかるようになります。

・・・南アフリカランドはどうなのでしょうね。

南アフリカランドは、日本での取引が始まったのはまだ1年程度です。過去の値動きのデータといっても、WEB上で見つけられるのは長くても4年程度しかありません。でも、相場先進国の米国では、30年以上も前から取引されている通貨なのです。

(*^。^*) なので、米国の資料を使う事にしました。

南アフリカランドの正確な資料は、数万円出せば手に入れる事は可能です。ヤフーで「South African Rand historical date」で検索すれば販売サイトを見つける事が出来ます。料金は200USドルくらいです。今回私は購入していません。理由は2つあります。

- 1、英語がまだ不自由なので、商品購入が不安だった。
- 2、手許にあるグラフで十分にわかる。

そんな事で、この無料レポートでは無料で入手出来る資料を使っております。手許にある、南アフリカランドの30年間の値動きのグラフがこれです。



1974年～2006年までのものです。ちょっとグラフの見方がよくわからないかもしれません。このグラフの表示は1 USドル当たりの南アフリカランドの値です。具体的に言うところいう事です。

1 USドル = ○○南アフリカランド

これは、日本で1 USドル=120円と表示するのと同じです。グラフが右上がりという事は、「ランド安」がずっと続いていたという事が、なんとなくわかるでしょう。でも、これだとちょっと見づらいですね。以下の部分だけを抜き出して、ちょっと見易くまとめてみましょう。皆さんもグラフで確認して下さい。

1974年 0.5くらい
 1982年 1くらい
 1986年 2.5くらい
 1990年 3くらい
 1994年 4くらい
 1998年 5くらい
 2002年 11.5くらい
 2006年 7.02 (12月26日の値)

このデータと円ドル相場の推移を合わせてみます。

http://han-rei.com/fx_kiso16.html

そうすると、こんな風にまとまります。

| 年 | 南アフリカランド-USドル | USドル-円相場 | 南アフリカランド円相場 計算値 |
|-------|---------------|-----------|--------------------|
| 1974年 | 0.5 | 280 | 560.00 |
| 1982年 | 1 | 235.3 | 235.30 |
| 1986年 | 2.5 | 160.1 | 64.04 |
| 1990年 | 3 | 135.4 | 45.13 |
| 1994年 | 4 | 99.83 | 24.96 |
| 1998年 | 5 | 115.18 | 23.04 |
| 2002年 | 11.5 | 119.37 | 10.38 |
| 2006年 | 7.02 | 118.94 | 16.94 |
| 単位 | 1USドル=〇〇ランド | 1USドル=〇〇円 | 1ランド=〇〇円 |

* ここにある数字は、上記の過程を経たアバウトな数字です。引用される際には、誤解を招かないように留意下さい。

グラフから抜き出した「**大体の数字**」で作った表です。でも、南アフリカランドの傾向だけはしっかりと掴めますよね。今回の目的を果たすにはこの表で十分だと思っています。

1974年頃の南アフリカランドは、**500円**以上していたようです。2006年の現在は、約17円、しかも4年前には、10円という時もありました。

(・_・;) 560円→17円なので33分の1ですね。

米ドルがこの30年で暴落したといっても、**3分の1程度**、英ポンドが昔は1000円以上から暴落したといっても、**6分の1程度**です。それに対して、南アフリカランドの暴落

は、**33分の1**です。これが、新興国通貨の暴落の恐ろしさなのです。

(・_・;) 暴落幅の大きさがおわかりになりますでしょうか？

新興国通貨の恐ろしさ

南アフリカランドだけが、なぜこんなに暴落しているのか？

そんな疑問を持った方も多いでしょう。実は、これは南アフリカランドだけの特徴ではありません。ブラジルレアルやインドネシアルピーやメキシコペソなども同じような動きをしています。

言い換えると、この暴落は「**新興国通貨の値動きの特徴**」なのです。

この特徴には以下のようなものもあります。

- ・ **【激しい値動き】** 値動きが荒く短期間で大きな動きをする。
- ・ **【長期下落傾向】** 経済が弱いために長期的には通貨は下落し続ける。
- ・ **【高金利】** 投資してくれる人がいないために高金利にしないとお金が集まらない。

南アフリカの通貨をFXで買うという事は、南アフリカに投資するのと同じ意味があります。世界の投資家の目から見た場合には、南アフリカは「非常にリスクの高い国」の一つです。そのため、投資資金を集めづらく、金利を高くして魅力を高めないといけない訳です。

(・_・;) しかも、その投資資金の多くは短期の投機資金が多いのです。

国が不安定なので、長期の資金は集まりづらいのです。

FXでスワップ目的の投資をするというのは、長期間保有する事になりますので「長期投資」という事です。南アフリカランドにスワップ目的で買おうという方は、まずこの現実をしっかりと認識しないとイケません。

通貨が30分の1になったという現実

もしも、30年前にFX取引があり、100万南アフリカランドを買っていたらどうなっていたでしょうね。ちょっと計算してみましょう。

1974年の100万南アフリカランド=約5億6千万円です。

2006年の100万南アフリカランド=約1千6百万円

差引 5億5千万円の損

(スワップ金利含まず)

南アフリカランドでスワップ投資をしていたら、30年間暴落を続け、**5億円の含み損**を抱えた事になります。仮に、スワップ金利で2億円貰ったとしても、「焼け石に水」の状態です。

損はレバレッジで加速する

しかも、この損の計算は、レバレッジ1倍の場合です。これにレバレッジを効かせると、その損は更に増えます。

レバレッジ2倍で10億円の損

レバレッジ3倍で15億円の損

レバレッジ5倍で25億円の損

レバレッジ10倍で50億円の損

1千万円くらいのお金をレバレッジ約5倍で南アフリカランドを買えば5年くらいで元金1000万円は無くなってしまいう事になるでしょう。

(・_・;) スワップ投資で資産が減り続けるという事です。

例え、高いスワップ金利を支払っても「売り続ける」方が勝てる可能性が高いとも言えます。もしも、私が南アフリカランドを手掛けるとすれば、基本戦略は「売り」です。上げたところに「売り」を仕掛けていく売買をしていくでしょう。

以上からわかる事はこういう事です。

南アフリカランドは長期的に下落していく通貨。

スワップ目的の投資には向かない。

南アフリカランドは売り続ける方が儲かる可能性が高い。

そんな馬鹿な。

と思われるかもしれませんが、これが現実です。

通貨の暴落に底は無い

最初のグラフを見ていた方の中には、こんな事を感じた方もいるかもしれません。

「南アフリカランドもそろそろ上昇の時期ではないだろうか？」

グラフの見方次第ではこういう見方もできます。でも、通貨の値動きは、そういう方法での長期見通しは出来ません。

通貨の値＝国力

通貨の将来の値＝将来の国力

だからです。チャートで値動きを予測出来るものではありません。南アフリカという国が、将来大きく発展し続けるという確信が無い限り、通貨は下げていきます。それが、新興国通貨の宿命のようなものです。

しかも、恐ろしい事があります。

「新興国通貨の暴落には底がないのです」

30年下げ続けて、更に30年下げ続ける。
そんな事は別に不思議な事でも異常な事でもありません。
通貨の世界では、良くある事の一つです。

南アフリカランドが10円になる。

南アフリカランドが5円になる。

南アフリカランドが0.5円になる。

すべて、将来起こりうるシナリオだという事です。株価のように、どこかで戻ってくるものではないのです。

反論の前に読んで欲しい事

「今までの南アフリカとこれからの南アフリカは違う」

そんな反論もあるでしょうね。中国のように、これから大きく成長が望める国もあります。南アフリカ共和国も中国のようにこれからどんどん発展していくという見方もあります。

(・_・;) そう思う方は、南アフリカランドに投資しても良いかと思います。

参考までに南アフリカ共和国の関連ページを紹介しておきます。

南アフリカ基礎データ（経済など）

http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/s_africa/data.html

治安・安全状況

<http://www.anzen.mofa.go.jp/info/info4.asp?id=122>

以上、外務省データ

南アフリカ共和国の経済情勢（はてな掲示版）

<http://q.hatena.ne.jp/1153970764>

南アフリカの多くの問題

<http://www.weogroup.com/southafrica.html>

これらを読むと、南アフリカという国の現状の認識が出来るでしょう。「資源高」のような好材料に隠れている暗い部分が数多くあるという事がご理解頂けるでしょう。

「ワールドカップ」や「資源国」という明るい話題ばかりを追いかけるのもよいですが、こういう「本当の経済状況」や「国内の安定度」をしっかりと認識しなければ、投資で大怪我をする事になります。

この辺の状況を認識した上で南アフリカランド投資をする事をオススメします。

**「資源高」の後には、「資源安」の時代が来る。
資源高で買われた南アフリカランドは、その前に暴落する可能性が高い。**

南アフリカランド投資はこうする。

F X取引で儲かる方法には二つあります。

- 1、スワップ金利目当てに長期投資で儲ける。 → スワップ派
- 2、短期の値動きの売買で儲ける → トレード派

南アフリカランドは、スワップ投資に向く代表通貨と思われていますが、私は逆の意見です。南アフリカランドはスワップ投資には向きません。

**南アフリカランドは、短期の値幅を狙うトレード向きの通貨です。
しかも、売買の基本は「売り」です。**

長期下落の方向性を考えれば、売買は「売りの仕掛け」中心の方が儲かる確率が高いということですが。

(*^。^*) これは、あくまで私の私見です。

最後に

いろいろ南アフリカランドの悪口のようなレポートになってしまいましたんね。大分、気を悪くされた方もいるでしょう。このレポートを書く事になった背景を最後にお話させて頂きます。

私自身、F X取引を始めて5年になります。一度として損となった年はありません。ずっと儲け続けてきました。今年になって、F X取引で南アフリカランドが売買出来るようになりました。私はその時すぐこう思ったのです。

「南アフリカランドは売りの通貨だ。きっと売りを中心に取引が増える」

私は、大学生の頃から通貨の勉強をしていました。勉強もし、相場も手掛けてきた。その経験から「南アフリカランドは長期的には下げ続ける。売りの方が儲かる通貨」だという自信があったのです。

でも、現実とは全く逆でした。平成18年12月現在、某F X会社の南アフリカランドの取引の95%は「買いポジション」なのです。そのほとんどが、「スワップ狙い」の投資のようなのです。そして、南アフリカランドのスワップ投資で儲け続けているという話はまだ聞いた事がありません（円安になって一時的に儲けてもその後やられている人が多いのです）。

そこで疑問が出てきたのです。

「この通貨の現実の姿を知っているのだろうか？」

南アフリカランドの現実を知って欲しい。また、他の新興国通貨の投資のリスクをもっとしっかりと理解して欲しい。このレポートはそんな気持ちで書いたものです。

(*^。^*) この辺の事を理解した上で投資されるのであれば、反対などしません。

F X取引もかなり定着してきました。

F X取引は、やり方次第でかなり有利に資産を増やす事が出来ます。

但し理解を持って、F X取引に挑まれる事を強く望みます。

(*^。^*) 後日、メルマガ「相場生活入門」でお会いしましょう。

発行：ハン・レイ 代表 横澤清久 <http://han-rei.com/>
Copyright 2006 All Rights Reserved by Kiyohisa Yokosawa.
無断転載を禁じます。